

中井沼



昔々、豊富町のこの地区に中井さんという方が住んでいました。この場所は中井さんが所有していた土地であり、地域の子供たちのためにと中井さん本人が一人で公園を作ったのが始まりと言われています。

その公園には、ターザンロープやブランコなどの遊具の他に、沼の中心地に小さな島があったので、その島の中心に小さな五重の塔を設置するなど、多くの子供たちに人気の公園でした。



当時はその公園には名前がなかったのですが、サイクリングロード沿いにあるため、利用する方々から「あの沼の名前は何か？」と聞かれることがあり、その時に案内をしていた方が中井さんの土地という事で「中井沼」と教えたのが由来となっています。



昔はひっそりとある小さな沼地だったのですが、近くにゴルフ場が建設され、コースの散水に沼の水が利用される事になりました。

その対策として、川上に堤防を作り、水が溜まるようにしたために現在の大きさになっていきました。